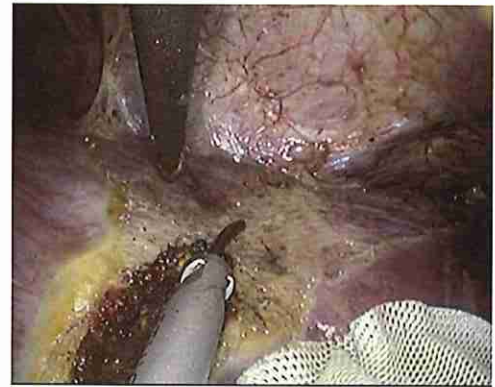


【体にやさしい腹腔鏡による肝切除】

肝ぞうはろっ骨の下にありますので、開腹で肝切除を行うにはJ字型やL字型に大きくお腹を切る必要がありました。

新しい腹腔鏡による肝切除は、小さな傷からカメラ、はさみ、などをお腹の中に入れて手術を行います。お腹の中で行う手術の内容は開腹手術と同じです。

傷が小さく体への負担が少ないので、痛みが少なく早く回復します。ご高齢の方にも適した手術です。



東海大学消化器外科では積極的に腹腔鏡下肝切除を行っています。開腹肝切除の方が安全に切除できる場合もありますので、それぞれの患者さんに最も良い方法をご提案しています。

【さいごに】

肝切除は最近大きく進歩しました。肝切除は専門的な治療ですので専門施設での治療をおすすめします。いつでもご相談ください。

《著者紹介》

高橋 進一郎 (たかはし しんいちろう)



東海大学医学部消化器外科准教授

1992年 千葉大学医学部卒

1999年～2022年 国立がん研究がんセンター東病院 肝胆膵外科 (2007年～2022年 同 医長)

2019年～2022年 同 臨床研究支援部門機器開発推進部部長

2022年～ 東海大学医学部 消化器外科 准教授

日本外科学会外科専門医 指導医、日本消化器外科学会 評議員 専門医 指導医、日本肝胆膵外科学会 評議員 名誉指導医、日本膵臓学会 指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、消化器がん外科治療認定医、厚生労働省 修練指導医